



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場会社名 美津濃株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8022 URL <http://corp.mizuno.com/jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 明人
 問合せ先責任者(役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 福本 大介 (TEL) 06-6614-8465
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	136,402	△5.0	△288	—	△461	—	121	△94.6
28年3月期第3四半期	143,656	7.4	2,452	△22.7	2,692	△29.8	2,261	△5.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 △1,997百万円(—%) 28年3月期第3四半期 △57百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	0.96	—
28年3月期第3四半期	17.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	151,178	85,864	56.6
28年3月期	169,995	89,091	52.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 85,597百万円 28年3月期 88,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
29年3月期	—	5.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	187,000	△4.6	1,000	△66.3	500	△82.0	0	△100.0	0.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想については、本日(平成29年2月9日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	132,891,217株	28年3月期	132,891,217株
29年3月期3Q	6,497,749株	28年3月期	6,679,275株
29年3月期3Q	126,312,610株	28年3月期3Q	126,041,974株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国及び英国における政治情勢の変動による不透明感があり、また中国では経済成長が下振れしながらも、全体としては緩やかに回復しました。

我が国経済は、設備投資や輸出など一部に回復の遅れがみられるものの、穏やかな回復基調が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、「米州ビジネスの収益回復」、「コスト低減への取り組み」及び「新規事業領域におけるビジネスモデルの構築」を最重要課題と位置づけ企業価値向上に取り組んでまいりました。

しかしながら、国内事業は概ね堅調に推移したものの、北米ランニングシューズ市況が引き続き極めて厳しい状況であったことや、全世界的なゴルフ品市場の縮小、ポンド下落によるイギリス支店での為替差損の発生など、海外事業は非常に厳しい結果でした。

この結果、売上高は72億5千4百万円減収（前年同期比5.0%減）の1,364億2百万円となりました。営業損益は、米州での営業損失の発生と、仕入コストにおいて全般的に為替変動の影響を大きく受け売上総利益率が1.4ポイント低下したことなどにより、27億4千万円減益の2億8千8百万円の営業損失となりました。経常損益は、営業損失及び英国ポンドの為替差損発生の影響で、31億5千3百万円減益の4億6千1百万円の経常損失となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 日本

日本は、自治体の指定管理施設の運営や建設工事、体育器具を販売するスポーツ施設サービス事業が、体育施設向け用具、競技場改修などの完成工事案件が増加したことなどにより好調に推移いたしました。野球やサッカー、競泳などの競技スポーツ品販売事業、ランニングシューズや機能性ウェアなど、より生活に身近な製品を販売するライフスタイル品販売事業の販売は総じて堅調に推移いたしました。また、外貨建て仕入のコスト増などにより、営業利益は減少しました。また、全世界的に市場が縮小しているゴルフ品販売事業は引き続き苦戦いたしました。

この結果、売上高は14億6千4百万円増収（前年同期比1.6%増）の915億6千万円、営業利益は13億2百万円減益（同56.5%減）の10億1百万円となりました。

② 欧州

欧州は、主力のランニングシューズの販売が、競争激化により伸びが鈍化しつつあるものの、引き続き成長を維持しております。欧州で高い市場シェアを獲得しているハンドボールやバレーボールなどのインドアスポーツシューズも順調に販売を伸ばしております。全世界的に市況が冷え込んでいるゴルフ品においては、欧州ではカスタムクラブが好調で現地通貨ベースでは前年並みの売上を確保いたしました。また、ゴルフビジネスは、新製品のウッドやアイアンが好調で堅調に売上を確保いたしました。

以上のように、欧州事業の売上は現地通貨ベースでは前年同期比増でしたが、英国ポンド、ユーロなど欧州通貨の大幅な下落により円貨換算では前年同期比減となりました。

この結果、売上高は7億1千9百万円減収（前年同期比6.0%減）の111億7千8百万円、営業損益は、主にアパレル品販売の採算が改善したことから、4億4千1百万円損失が減少し、1億6千6百万円の営業損失となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における欧州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

英ポンド：143.64円（前年同期 185.46円）、ユーロ（欧州支店）：119.03円（前年同期 133.59円）、ユーロ（子会社）：122.07円（前年同期 135.58円）、ノルウェー・クローネ：13.07円（前年同期 15.18円）

③ 米州

米州のスポーツ品市場は、大手小売チェーンの経営破綻など前期に引き続き厳しい市況が続いております。

ランニングシューズ市場では、消費者の嗜好がシリアスランニングからカジュアルランニングに移行しつつあり、高機能ランニングシューズは流通過剰となり店頭での値引き販売が常態化いたしました。当社グループにおいても価格競争に陥り、収益を圧迫しました。

ゴルフ品や野球品においても、市場の縮小の動きが見られるなか、競合他社との厳しい価格競争が続きました。

また、販売代理店からロイヤルティ収入を得ている南米ビジネスにおいても、ブラジル経済の混迷、米ドルに対するレアル安による為替換算により、収益は前年を下回りました。

この結果、売上高は60億4千6百万円減収（前年同期比24.7%減）の183億8千5百万円、営業損益は18億9百万円減益の17億3千万円の営業損失となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における米州各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

米ドル：109.97円（前年同期 120.84円）、カナダドル：83.03円（前年同期 96.08円）

④ アジア・オセアニア

アジア・オセアニアは、グローバルで苦戦しているゴルフ品販売事業が振るわなかったものの、サッカーシューズが韓国や中国で、ランニングシューズが台湾やシンガポールで好調を維持し、売上は堅調に推移しました。アジア・オセアニアの売上は現地通貨ベースでは1カ国を除き前期比増でしたが、各国通貨に対する円高により、円貨換算では前期比減となりました。

この結果、売上高は19億5千2百万円減収（前年同期比11.3%減）の152億7千8百万円、営業利益は1千3百万円減益（同1.8%減）の7億1千5百万円となりました。

また、当期に中国の生産拠点においてゴルフ製造事業のリストラを行い、特別損失として事業構造改善費用3億8千9百万円を計上しております。

なお、当第3四半期連結累計期間におけるアジア・オセアニア各通貨の換算レートは以下のとおりであります。

台湾ドル：3.39円（前年同期 3.84円）、香港ドル：14.17円（前年同期 15.59円）、

中国元：16.72円（前年同期 19.52円）、豪ドル：81.40円（前年同期 92.06円）、

韓国ウォン（100ウォンあたり）：9.47円（前年同期 10.75円）

米ドル（シンガポール）：109.97円（前年同期 120.84円）

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ188億1千7百万円減少して1,511億7千8百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が26億9千万円増加した一方、受取手形及び売掛金が124億2千2百万円減少、商品及び製品が40億5千5百万円減少、土地、建物等の有形固定資産が27億4千4百万円減少、そして投資有価証券が17億5千5百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ155億9千万円減少して653億1千3百万円となりました。主な要因は、借入金46億6百万円減少、支払手形及び買掛金が41億6千6百万円減少、退職給付に係る負債が32億9千4百万円減少、そして未払金及び未払費用が24億5千4百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ32億2千7百万円減少して858億6千4百万円となりました。繰延ヘッジ損益が19億5千6百万円増加した一方、為替換算調整勘定が34億3千5百万円減少、その他有価証券評価差額金が9億4千9百万円減少したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の52.2%から56.6%へと4.4ポイント増加いたしました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、平成28年11月11日公表の連結業績予想数値を修正しております。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、本日（平成29年2月9日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,176	16,866
受取手形及び売掛金	46,637	34,215
有価証券	132	—
商品及び製品	35,425	31,369
仕掛品	896	1,124
原材料及び貯蔵品	3,579	3,457
繰延税金資産	2,882	1,877
その他	5,269	6,200
貸倒引当金	△1,252	△1,029
流動資産合計	107,747	94,081
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,442	16,830
土地	16,879	15,982
その他(純額)	2,650	2,413
有形固定資産合計	37,971	35,227
無形固定資産		
のれん	3,697	3,191
その他	7,026	6,807
無形固定資産合計	10,724	9,998
投資その他の資産		
投資有価証券	8,824	7,069
繰延税金資産	2,555	2,848
その他	2,564	2,345
貸倒引当金	△392	△392
投資その他の資産合計	13,551	11,870
固定資産合計	62,247	57,097
資産合計	169,995	151,178

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,498	14,331
短期借入金	12,596	8,198
1年内返済予定の長期借入金	6,680	7,530
未払金及び未払費用	11,622	9,167
未払法人税等	998	531
返品調整引当金	367	342
その他	2,640	2,234
流動負債合計	53,404	42,335
固定負債		
長期借入金	13,861	12,803
繰延税金負債	2,083	2,026
再評価に係る繰延税金負債	2,440	2,298
退職給付に係る負債	5,562	2,267
資産除去債務	218	219
その他	3,332	3,363
固定負債合計	27,499	22,978
負債合計	80,903	65,313
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,137	26,137
資本剰余金	31,520	31,549
利益剰余金	30,313	29,177
自己株式	△2,444	△2,380
株主資本合計	85,526	84,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,908	1,959
繰延ヘッジ損益	△780	1,175
土地再評価差額金	△104	△109
為替換算調整勘定	2,848	△586
退職給付に係る調整累計額	△1,600	△1,325
その他の包括利益累計額合計	3,271	1,112
非支配株主持分	293	267
純資産合計	89,091	85,864
負債純資産合計	169,995	151,178

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	143,656	136,402
売上原価	87,004	84,580
売上総利益	56,652	51,822
販売費及び一般管理費	54,200	52,110
営業利益又は営業損失(△)	2,452	△288
営業外収益		
受取利息	185	100
受取配当金	182	153
為替差益	273	—
その他	345	241
営業外収益合計	986	495
営業外費用		
支払利息	289	250
売上割引	369	215
為替差損	—	101
その他	87	100
営業外費用合計	746	667
経常利益又は経常損失(△)	2,692	△461
特別利益		
固定資産売却益	12	315
投資有価証券売却益	983	—
退職給付信託設定益	—	2,162
特別利益合計	996	2,478
特別損失		
固定資産売却損	6	172
固定資産除却損	9	33
投資有価証券評価損	—	0
事業構造改善費用	—	389
特別損失合計	15	595
税金等調整前四半期純利益	3,673	1,421
法人税等	1,306	1,226
四半期純利益	2,366	194
非支配株主に帰属する四半期純利益	105	73
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,261	121

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	2,366	194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△450	△949
繰延ヘッジ損益	△1,238	1,956
為替換算調整勘定	△804	△3,474
退職給付に係る調整額	69	275
その他の包括利益合計	△2,423	△2,192
四半期包括利益	△57	△1,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△146	△2,032
非支配株主に係る四半期包括利益	89	34

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。